

# 目次

グラビア

「市民の戦争体験記録」の発刊に際して

宜野湾市長 安次富盛信

「市民の戦争体験記録」の発刊に際して

宜野湾市史編集委員会委員長 知念清一

凡例

## I 沖縄県内での体験

解 説

宜野湾村内

ターバルガマから捕虜	山城 カマド・弘松・ノブ	三
長女と祖父を失う	古波蔵 カズ	六
新城部落の区長として	新城 加那	八
十六歳の少年たちが青年団を組織	比嘉 義定	一二
鬼畜でなかった米兵	宮城 テツ	一五
部落民の団結と統制	宮城 宇精	一七
手榴弾を投げ込まれて	知念 亀吉	一九
捕虜になって入院	吳屋 健一	二二

「憎きは米英」と教えられて	名城 一二三	二五
大山駅・最後の駅長として	古波蔵 恵公	二七
家族を連れアガリイサガマへ	松門 ウン	三一
メーガーラに籠って	宮城 ウメト	三四
空襲警報の中を	桃原 カナ	三五
アダンの葉の下で	知花 静	三八
馬車を引いて戦闘協力	伊波 清光	四三
砕石場同然の嘉数戦場	米須 清珍	四八
今帰仁でなくなった妻	仲村 将光	五〇
戦火の中で出産	仲里 ツル	五三
銃口の前で	稲福 チヨ	五四
我如古部落の日本軍	又吉 ツル	五七
嘆きから祈りへ	伊佐 カマド	五九
恐かった赤毛の米兵	多和田 カマド	六三
洞窟の避難民たち	弘・国吉 真光	六五
戦車隊がやってきた	大里 和子	七一
松川の壕で兄を失う	玉那覇 真吉	七二
腕を切断される	玉那覇 秀子	七七
一等国と一等国の戦争	宮城 一秀	七八
我が家に駐屯した石部隊	玉那覇 祐正	八〇
神山壕に避難して	仲松 キク	八四
神山部落の自然壕	佐喜真 盛経	八八
戦火の中の祈り	佐喜真 カマド	九一

島尻で死んだ二人 ..... 仲村渠 カマド ..... 九五  
死ぬ覚悟で猫いらすを飲む ..... 仲村 ウシ ..... 九八

中部方面

野戦病院で働く ..... 山城 要一 ..... 一〇一  
降参旗を片手に ..... 仲里 真裕 ..... 一〇三  
死人の中に夫が ..... 米須 ナビ ..... 一〇五  
夫との別れ ..... 安里 昌子 ..... 一〇六  
恐かった天野少尉 ..... 宮城 宇精 ..... 一一〇  
米軍上陸前の攻撃 ..... 名城 善亀 ..... 一一二  
黄燐弾で火傷 ..... 崎間 喜光 ..... 一一五  
球部隊に召集されて ..... 石川 真三 ..... 一一八  
悪臭たちこめる石川岳 ..... 又吉 康誠 ..... 一二〇

南部方面

糸満に向って ..... 新城 加那 ..... 一二二  
逃亡の日々 ..... 仲村 春昭 ..... 一二四  
軍用犬にみつかつて ..... 新城 盛牛 ..... 一二八  
悲劇の米須戦場 ..... 宮城 順光 ..... 一三一  
終戦も知らずに ..... 山城 要一 ..... 一三五  
妻と子ども三名を奪われて ..... 米須 清光 ..... 一三八  
球部隊での死闘 ..... 仲村 春賢 ..... 一四〇  
生死の間は紙一重 ..... 米須 清珍 ..... 一四六  
私の戦後は終らない ..... 多和田 春子 ..... 一四九  
逃げまどう避難民の群 ..... 比嘉 カメ ..... 一五四

あてもなく島尻へ

勝連 秀子 ..... 一五九  
礎隊として沖縄へ ..... 照屋 嘉真 ..... 一六二  
産後に戦場を逃げ惑う ..... 仲松 ヒデ ..... 一六四  
次男坊の不幸な死 ..... 伊佐 ウト ..... 一六七  
南部への逃避行 ..... 仲村 春 ..... 一七〇  
弾雨をついて食糧探し ..... 平安名 常安 ..... 一七二  
鍋の中に死体が ..... 新垣 カマド ..... 一七六  
死にゆく我が子たち ..... 山城 ミヨ ..... 一七八  
防衛隊、召集から解散まで ..... 又吉 正実 ..... 一八二  
忘れられない糸洲部落 ..... 松川 真光 ..... 一八六  
全身、火傷の兵隊 ..... 又吉 ツル ..... 一九〇  
戦火に追われて ..... 津波古 サダ ..... 一九二  
死人の食糧を盗む ..... 天久 カメ ..... 一九七  
生き地獄の島尻 ..... 多和田 ノブ ..... 二〇〇  
集団自決で親戚十八人即死 ..... 伊佐 カマ ..... 二〇四  
死線の彼方に海が見えた ..... 比嘉 カメ ..... 二〇九  
摩文仁海岸で集団自決 ..... 渡慶次 一輝 ..... 二一二  
師範学校鉄血勳皇隊 ..... 宮城 邦彦 ..... 二二四  
急造爆雷をかついで ..... 古波蔵 信三 ..... 二二九  
こんな世の中だから ..... 又吉 フミ ..... 二三五  
福場軍医と共に ..... 坂口 和子 ..... 二三九  
北部方面 ..... 山内 ナエ ..... 二四二  
飢えと疲労に耐えて

戦争は二度とごめんだ ..... 宮城ヨネ ..... 一三六

暗やみで偶然、家族と再会 ..... 宮里仙一 ..... 一三九

軍・民間の食糧の奪い合い ..... 比嘉定清 ..... 二四三

栄養失調で娘を失う ..... 津波古ヨシ ..... 二四五

嫁を発見して ..... 比嘉ヒデ ..... 二四八

彷徨の果てに ..... 宮城ウト ..... 二五〇

**離島方面**

宮古第一野戦病院 ..... 山城興進 ..... 二五四

宮古上野村での空襲 ..... 根間カネメカ ..... 二五六

決死の伊江島脱出 ..... 上里幸次 ..... 二五七

最後まで民間人で通す ..... 石川栄蒲 ..... 二六一

夫の召集で沖縄に帰る ..... 比嘉幸子 ..... 二六三

片目を失い傷痍軍人となる ..... 玉城孝助 ..... 二六六

その他

昭和十九年十月十日運天港にて負傷 ..... 島袋全一 ..... 二六九

市町村農業会と供出 ..... 宮里昌栄 ..... 二七二

II 疎開

解説

県内疎開

真夜中の逃避行 ..... 宮里正三郎 ..... 二七七

苦しかった今帰仁疎開 ..... 比嘉ソル ..... 二八〇

祖父母を残し今帰仁へ ..... 伊佐サヤ ..... 二八三

今帰仁へ疎開 ..... 奥里カミ ..... 二八六

平敷の避難小屋 ..... 安里ナビ ..... 二九一

石川さん一家を世話 ..... 高良サエ ..... 二九四

疎開者を受け入れて ..... 平良ナエ ..... 二九六

隣組で疎開民を受け入れて ..... 石嶺カナ ..... 二九八

食糧に飢えた疎開生活 ..... 仲村ヒデ ..... 三〇〇

県外疎開

宜野湾村の学童疎開 ..... 記録 仲村元惟 ..... 三〇五

子どもと熊本へ疎開して ..... 名幸ヒデ ..... 三一八

学童疎開引率教諭として ..... 大里和子 ..... 三一九

長女の死と夢 ..... 清原ミユキ ..... 三二一

疎開先から軍需工場へ ..... 金城和子 ..... 三二四

二〇畳に男女三四人の寮生活 ..... 天久盛昌 ..... 三二六

III 帰還・戦後

解説

収容所生活

捕虜生活 ..... 宮城カマ ..... 三三三

私に不幸があったら ..... 宮城サダ ..... 三三四

ハワイへ送られて ..... 崎間喜光 ..... 三三七

今は亡き子の冥福を祈って ..... 仲里真裕 ..... 三三九

戦争のため離婚を余儀なく	島袋スエ	三四〇
傷口は癒えず	比嘉カメ	三四五
帰ってみると一家全滅	我如古盛昌	三四八
終戦直後の悲惨な事故	比嘉ヒデ	三五一
羽地カンバンから野嵩へ	石川栄満	三五三
島尻へ夫の骨を拾いに	比嘉ウシ	三五五
田井等収容所で豆腐作り	古波蔵ハル	三五六
<b>戦後復興</b>		
バサスンチャーに身をかえて	名城一二三	三五八
ギブミー時代	比嘉義定	三五九
荒唐の中から	宮城一秀	三六一
闇商売と戦果	成島正二	三六五
薪一束三〇銭の生活	宮城ウシ	三六八
戦後復興時代の区長として	平安座唯正	三七〇
南方から帰還して	多和田真勇	三七三
米軍部隊の警備員	元山常吉郎	三七五
<b>米軍占領下の生活</b>		
フィリピンから引き揚げて	山城キヨ	三七八
娯楽に飢えた人々とともに	当真朝美	三八一
米軍の遺体処理作業	安里康永	三八七
伊佐浜土地接収反対闘争	澤岨安助	三八九
米兵による婦女暴行事件	桃原カナ	三九三
松村組の沖縄入り	仲村元惟	三九四
記録		

## IV 移民・出稼地での体験

### 解 説

#### 出稼地

東京での戦争体験	天久マス	四〇一
地獄を見た	米須ハル	四〇四
富士電気養成工として	仲村春信	四〇七
出稼地で夫は召集され	米須ヨシ	四〇八
紡績工場で働いて	屋宜ユキ	四一〇
布団をかぶって広場へ	平安座唯正	四一四
大阪の軍需工場にて	比嘉清一	四一六
夏は塩作り冬は樽作り	小渡良松	四一八
熊本で闇商売	具志堅全戸	四二〇
出稼地大阪での縁	当山伸太郎	四二四
軍需工場から逃亡	石川真治	四二六
女手ひとつで	石原信子	四二九
大阪で一旗揚げようと	比嘉秀吉	四三一
八月十五日玉音放送にくぎつけ	米須清亀	四三四
女工として大阪へ	諸喜田幸子	四三六
連日の空襲警報	当山キヨ	四三八
母子家庭の苦しみ	比嘉グヂ	四四〇
伝染病とは知らないで	山里千枝	四四二

移民地

台湾での戦争体験	石垣カミ	四四六
フィリピン山中での彷徨	知花幸永	四四八
憲兵に銃をつきつけられて	浦崎政秀	四五二
泣き叫ぶ闇夜のジャングル	新田初	四五六
傷をおして食糧さがし	比嘉カヨ	四六〇
夫婦ともに生き残って	比嘉麻津	四六三
悲しい思いで沖縄へ	稲嶺盛善	四六六
幸せな日々から	伊波加栄	四六九
収容所生活からジャングルへ	山城キヨ	四七二
ダバオで日本人隣組保護係として	友寄三武	四七七
タンク建設のため南洋へ	宮城正信	四八〇
一家でジャングルをさまよう	桃原つる	四八三
タモガン山中・逃避行	宮里キヨ	四八八
フィリピンでの栄光と悲惨	玉那覇行昭	四九二
密林で食糧を求めて	知花幸善	四九八
ミンダナオ島での十一年	仲里公喜	五〇〇
家族ばらばらに帰還	呉屋長成	五〇二
骨を埋める気持で移民	比嘉秀安	五〇五
逃亡生活の果てに	豊永シゲ	五〇七
バンザイ・クリフ	安里光栄	五一一
思いがけない悲劇	徳嶺ツル	五一七
勝ちめのない戦争	浜元朝秀	五一九

サイパン移住と戦争	伊波長宜	五三三
戦場のパラオ島	新垣恒和	五三五
娘の誕生祝と終戦	呉屋正善	五三八
その他		
戦時中の行商生活	東郷セキ	五三一
故郷を離れて四十年	宮城俊哲	五三四
貧乏一代記	屋良朝光	五三九
本土での学徒動員	武島行男	五四五

V 出征地での体験

解説

出征地

ダッバコー突破と敗戦	比嘉守義	五五一
大陸縦断作戦に参加	吉里真太郎	五五三
広大な揚子江のほとり	米須清信	五五五
中国大陸で「鉄の暴風」を読む	仲村春信	五六二
中国からソロモン諸島へ	多和田真勇	五六四
連日十時間の強行軍	澤岷安一	五六六
陸軍軍医山城中尉	山城興進	五六九
終戦直後の満州にて	川畑貞熊	五七一
輸卒としてシベリアへ	宮城盛山	五七五
極寒のシベリアで重労働	宮里亀太郎	五七九

ソビエト第八強制収容所	.....	新垣政理	五八二
第十特別根拠地隊	.....	比嘉武順	五八六
出兵と同時にバンドンへ	.....	島徳吉	五九〇
バリ島で特務活動	.....	大浜方久	五九三
敵しかった戦闘訓練	.....	比嘉真永	五九六
ジャワ島沖海戦	.....	米須清亀	六〇一
ダバオ・ニューギニアで飛行場建設	.....	比嘉守盛	六〇五
戦争に追われた日々	.....	知念貞一	六〇九
療養中に召集令状	.....	仲村春昭	六一一
海軍時代の三年間	.....	島袋全一	六一三

### VI 各部落戦争被災概況

#### 解説

純農村が難民収容所と化す	.....	(野 嵩部落)	六一九
名所旧跡も灰燼に帰す	.....	(普天間部落)	六二三
新城カーで救われた区民	.....	(新 城部落)	六二六
二〇〇余柱の戦没者	.....	(喜友名部落)	六二九
昔の面影何もなし	.....	(安仁屋部落)	六三三
全島を揺るがした土地闘争	.....	(伊 佐部落)	六三六
部落移動の中継地として	.....	(大 山部落)	六三九
この世の別れにと水さかずき	.....	(真志喜部落)	六四三
ガマや門中墓にかくれて	.....	(宇地泊部落)	六四八
物心両面に打撃を受けて	.....	(大謝名部落)	六五〇
激戦を語る弾痕が今も	.....	(嘉 数部落)	六五三

東伊佐ガマに二〇〇〇人	.....	(真栄原部落)	六五八
日本軍に追いはられた住民	.....	(佐真下部落)	六六一
我如古平松も戦火に	.....	(我如古部落)	六六七
六〇〇人が島尻へ	.....	(志真志部落)	六七一
最も犠牲者の多い長田区	.....	(長 田部落)	六七三
失われた部落	.....	(宜野湾部落)	六七六
戦争の犠牲者一四〇人	.....	(愛 知部落)	六七八
旧部落地にかえれず	.....	(神 山部落)	六八一
灰燼に帰した全財産	.....	(赤 道部落)	六八四
部落ごと飛行場となる	.....	(中 原部落)	六八五
島尻で多数死亡す	.....	(上 原部落)	六八七

#### 転載

全身に肉片を浴びる	.....	比嘉登美子	六八九
渡嘉敷島での戦時日記	.....	崎間義郷	六九四
野嵩収容所での生活	.....	神谷すみ子	七〇〇
収容所「野嵩」	.....	宮城進	七〇八

#### 付録資料

宜野湾村出身戦没者等統計	.....	二
宜野湾市内避難洞穴分布図	.....	三
宜野湾村民の避難経路および収容所と米軍進攻図	.....	六
部落略図	.....	八
沖縄戦と宜野湾に関する主要年表	.....	四五
宜野湾市史第三巻編集協力者名簿	.....	五六